

(第2号様式)

冲高特第1636号
令和6年3月6日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄高等特別支援学校
校長 城間政次
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年6月8日 (木)	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	4名/5名中
第2回	日時	令和5年12月10日 (日)	場所	〃	出席 状況	5名/5名中
第3回	日時	令和6年2月21日 (水)	場所	〃	出席 状況	4名/5名中

2 学校評議員に求めた事項

第1回:学部の取組について(入試実施状況 就職状況 福祉コース新設)
寄宿舎の取組について(3年生の寄宿舎選択制の導入)
第2回:学部の取組について(資格取得の取組について うるま市イベントへの出店 福祉コース)
寄宿舎の取組について(スマホ利用 定期的な寄宿舎売店の開設について)
第3回:学部の取組について(学校改革の取り組みについて)
寄宿舎の取組について(選ばれる寄宿舎を目指した取り組みについて)

3 学校評議員の意見

志願者について:70名の出願があり、志願者の減少傾向が改善されたのはすばらしい。今後も学校の良さをアピールする取組を行って欲しい。
就職について:卒業生46名中43名が就職できる見込みであることはすばらしい。
資格取得について:小型車両系建設機械運転特別教育資格を校内で取ることができるのは画期的。
福祉コースについて:地域の事業所と連携し、より良い教育実践を行う仕組みを作ってほしい。
寄宿舎選択制について:1,2年生は原則寄宿舎を利用できるように、3年生の入舎を制限した方がよい。
スマホ指導、男女交際の在り方の指導を継続してほしい。

4 学校運営に反映した事項

(1)学校の取組を、新聞、テレビ、ホームページ、うるま市主催のイベント(うるま市健康フェスタ うるま市産業まつり)への出店、田場老人会を学校に招待等の方法で地域に発信した。
(2)1,2年生の就業体験を自宅から行うことができるように職場開拓を行った(これまでは寄宿舎から実習先に通う方法が主流だった)。
(3)令和6年度入学生からは、3年生になったら寄宿舎を利用できないこともあることを周知した。
(4)介護事業所との提携を県教育庁と連携して進める。

5 課題その他

(1)うるま市施設(うるみん、ウルマルシェ等)での平日での定期的な出店。
(2)1,2年生の自宅からの就業体験を更に推進する。
(3)福祉コースと地域の介護事業所の連携。
(4)資格取得を推進する授業づくりのさらなる推進。
(5)寄宿舎を希望する3年生が入れない場合の選定方法の周知。